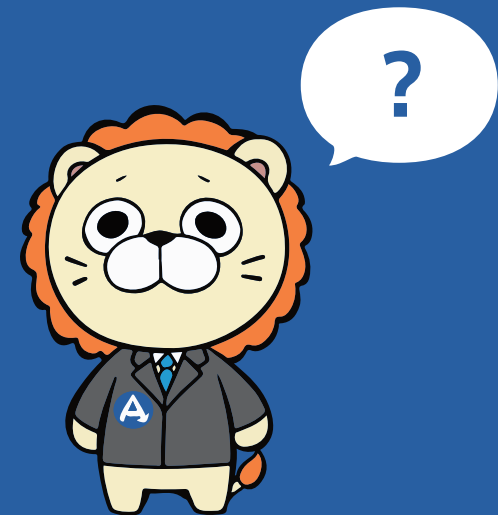


なぜあの企業は AppGuardを選んだのか？



株式会社 Blue Planet-works

〒141-0032
東京都品川区大崎4-1-2 ウィン第2五反田ビル 3F



blueplanet-works.com

正規販売代理店
カッティングエッジ株式会社 
101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-6
TEL / FAX : 03-6822-5613
<https://cuttingedge-tech.jp>
sales@cuttingedge-tech.jp



もう、セキュリティで悩まない。

APPGUARD



Blue Planet-works
Safety for the Connected World

Contents

AppGuardが提唱する セキュリティフレームワークの再定義	2
------------------------------------------	---

カスタマーエクスペリエンス特集！

【航空運輸業】 全日本空輸株式会社	4
----------------------------	---

【医療業】 特定医療法人佐藤会 弓削病院	6
-------------------------------	---

【総合建設業】 戸田建設株式会社	8
---------------------------	---

【地方自治体】 宮城県白石市	10
-------------------------	----

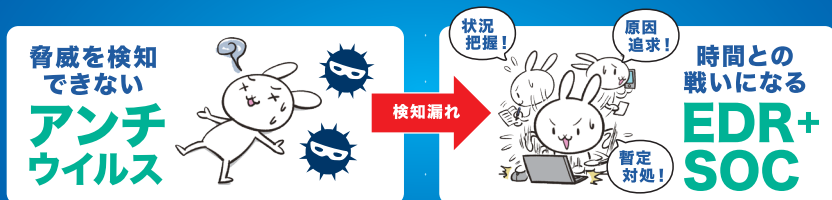
【製造業】 株式会社カクダイ	12
-------------------------	----

【福祉サービス】 社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会	14
-------------------------------------	----

Blue Planet-works監修セキュリティレポート 「サイバーセキュリティの裏側から」	16
----------------------------------------------------------	----



イタチごっこに 終止符を。



サイバーセキュリティの技術は幾度となく進化してきました。しかし、サイバー攻撃の被害は留まることなく、未だ攻撃者が圧倒的に有利な状況にあります。

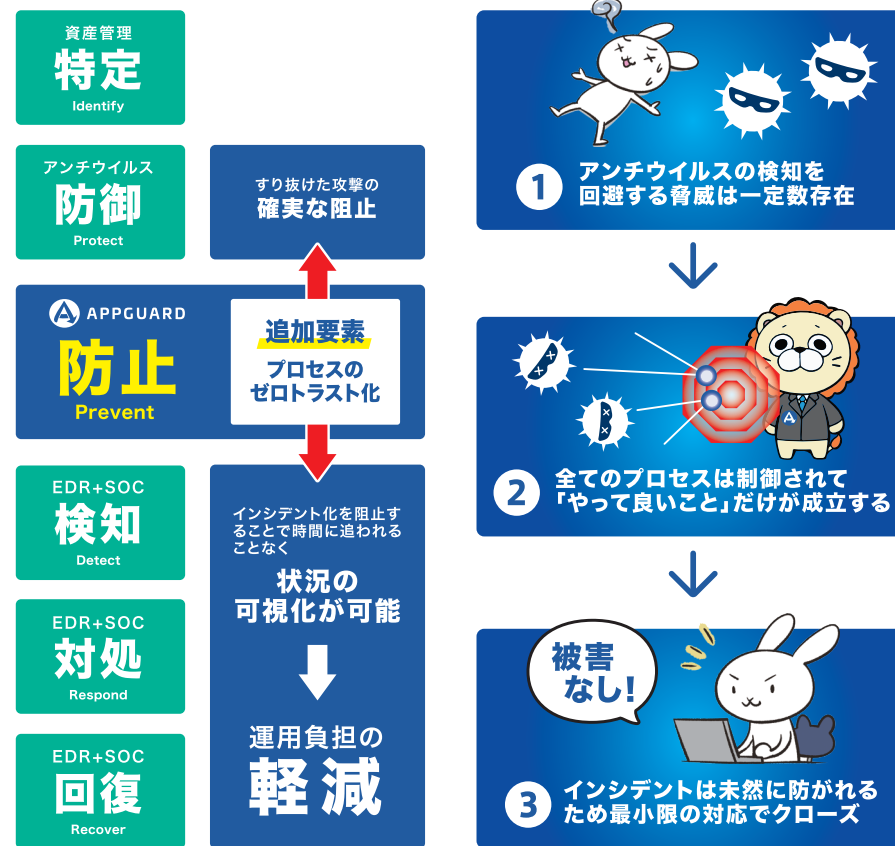
「何かがおかしいと 思いませんか？」

サイバー攻撃の手法や攻撃者のプロファイルはここ数十年で大きく変化し、より巧妙で組織化されたものとなりました。その攻撃者に対抗するため、「多層防御」として多くのソリューションが開発されてきましたが、その防御の手法は当時から大きく進化していません。

AppGuard は、攻撃者とのいたちごっこに終止符を 打つべく、従来採用され続けてきた「検知」という手法とは一線を画したゼロトラストの発想のもと開発されました。

APPGUARD を中心に
エンドポイントにおけるセキュリティフレームワークを
再定義してみませんか？

すり抜けた攻撃を成立させず、
事後対応への工数も削減します。



セキュリティは **防御** から **防止** の時代へ
やられる前に止める、今こそ新しい守りのカタチを。

導入企業 **18,000** 社 を突破!

採用いただいたお客様の声をご紹介します。特集へGO! ➡

カスタマー
エクスペリエンス特集!

01 【航空運輸業】

全日本空輸株式会社

セキュリティ対策コストを劇的に削減!
順次 ANA グループ全体への展開も。

Interview

デジタル変革室 企画推進部 担当部長
情報セキュリティ・基盤戦略 担当

和田昭弘 氏

膨大な情報を日常的に取り扱う、ANAグループの中核である全日本空輸。安心して安全なサービスを守るため、これまでも様々な対策を実施されてきたといいます。コスト削減と実益を兼ねた、課題解決までのお話を伺います。

慢性的な課題となっていた
セキュリティに関わる管理コスト。

私たちが所有する社内端末は2万5千台あり、これまで様々なセキュリティソフトを導入してきました。パターンマッチング型、振る舞い検知型、EDRと導入したものの、いずれも膨大な管理コストが課題に。そんな時にAppGuardであれば、テスト・展開のコストやセキュリティ人材の育成が軽減されると判断し、本格導入に向けた検討を始めました。

AppGuard の新概念で守り方の前提を変える。
コスト削減の効果も。

従来の「ウィルスか、ウィルスでないか」では未知の脅威を判別できませんが、AppGuardは「OSに対して、やってはいけないことをさせない」という全く新しい考え方。攻撃者との終わりのないイタチごっこに光明が差す思いでした。試験導入で検証をする中で、AppGuardのバージョンアップ時の大掛かりなテストが不要な点や運用の効率化など、費用対効果にも非常に優れているとの結論に至りました。

不正侵入を唯一防止した AppGuard。
社内の信頼を得て、今後はグループ展開へ。

導入時には、従来のシステムに慣れている一部部門からの抵抗もありました。ところが、2019年末に外部からの侵入につながりかねないインシデントが発生した際、多層防御含めた複数の検知システムの中で唯一AppGuardだけが防止したことで状況は一変。この事象により、周囲の意識も変わりました。今では会社貸与PCにはAppGuardが標準装備。今後はANAグループ会社全体へのAppGuard展開も検討しています。



◀◀◀ 記事全文はこちらから
Blue Planet-works ホームページ



特定医療法人佐藤会 弓削病院

AppGuard のマルウェア対策の考え方は、 医療 × 一人情シスの大きな援軍に。

Interview

総務部長 松浦弘樹 氏

佐藤会弓削病院は、50年以上続く熊本市の中規模病院。課題であった一人情シス体制でも、現在は安定した運用ができるようになったといいます。今回のインタビューではその秘訣を伺いました。

一人で端末を管理する限界と、 セキュリティ対策の重要性を痛感。

IT担当を引き継いだ頃、院内のパソコンや医事システムにまで影響を及ぼしてしまうセキュリティインシデントに直面しました。それは、職員が自宅から院内に持ち込んだUSBが発端となったもの。当時、ウイルス対策ソフトを導入していたのは医事システムのみであったことに加え、OSをアップデートしていなかったことも重なり、駆除にも非常に時間を要しました。OSアップデートの重要性と、重要なシステム以外にも対策ソフトを導入する必要があることを、このときに痛感したのです。

学ぶほど対応が難しい未知のウイルス。 対策の考え方が導入の決め手に。

「パソコンが重たい」。当時利用していたウイルスソフトはスキャンの負荷が高く、現場から苦情がよせられていました。そのころ、電子カルテの導入も決定したことで、いよいよ本格的な対策を決断。いろいろ調べていけばいくほど、未知のウイルスへの対策の難しさを痛感しました。そんな時にAppGuardの説明を受けた際の「ウイルスが侵入することは前提で、動作しなければいい」という話で、セキュリティに対する考え方が一変。さらにはウイルスソフトの重さも解消すると判明し、すぐに導入を決めました。

未知のウイルスにも効果を発揮！ PC運用ルールの構築にも寄与。

導入直後には、マルウェア「Emotet」によるなりすましメールをうっかり開いたこともありましたが、しかしマクロを通じて呼び込まれた脅威が動作せず、その力を実感。手口を知っていても引かかる巧妙なものもありますので本当に助かっています。そして、AppGuard導入により、PC運用のルールが構築できたことも嬉しい副産物です。セキュリティ面での懸念を払拭できたことで、PC自体の管理に重点を置くことができたのかもしれない。投資に見合う効果を十分発揮してくれていると感じています。



◀◀◀ 記事全文はこちらから
Blue Planet-works ホームページ



カスタマー
エクスペリエンス特集!

03 【総合建設業】

戸田建設株式会社

AppGuard が入っていない PC は持ち出し禁止がルール。
歴史ある企業の働き方を変えたのは
「そもそも感染させない」というコンセプトでした。

Interview

ICT 統轄部インフラセキュリティ部部长 盛茂実 氏

ICT 統轄部インフラセキュリティ部 比留間明 氏

2021年に創業140年を迎えた「戸田建設」。国内外の建築土木事業を手がける同社でも、エンドポイントセキュリティの選定には苦心したといいます。比較を重ねるなかAppGuardを導入した決め手となったのは?

PC を持ち出せる環境へ。 働き方改革から始まった IT 環境の見直し。

戸田建設では本社建て替えと働き改革を機に、仕事がどこでもできるようなIT環境の見直しを考えていました。同時にICT推進部でも、PCを含むエンドポイント（端末）のセキュリティ向上につながるソリューションの選定を進めることに。当初、有力な候補として浮上していたのは、EDR（Endpoint Detection and Response）プラットフォームでした。

「そもそも感染させない」という安心感。

EDRの導入が決まりかけたころ、AppGuardの紹介を受けることになりました。双方比較するなかでわかったのは、EDRは「侵入されることを前提に、侵入経路と被害を受けたポイントを追う製品」であること。対してAppGuardは、「そもそも侵入されても発症させない、感染させない」というコンセプトが明確でした。これは運用する立場としては感触がまったく違っていましたね。

セキュリティ管理における、 人員コストも導入の決め手に。

仮にEDRを導入した場合、全社にある約6,000台のパソコンのあちこちから「感染」のアラートがもし発せられたら、いまのICT推進部の体制では対応しきれない。セキュリティ管理の観点でも比較・検証し「そもそも感染させない」AppGuardの導入を決めました。こうしてAppGuardインストール済みのPCには「持ち出し許可済み」のシールが貼られることに。AppGuardの導入によってスムーズなテレワーク移行もでき、働き方改革を組織に浸透させる一因にもなったと考えています。



◀◀◀ 記事全文はこちらから

Blue Planet-works ホームページ

カスタマー
エクスペリエンス特集!

04 【地方自治体】



宮城県白石市

人口約3万人の東北の市役所で サイバーセキュリティ強化を進める意味とは?

Interview

白石市市長 山田裕一氏

蔵王の玄関口としても知られる、宮城県白石市は人口約3万の街。市長自らサイバーセキュリティ強化に取り組むことには、さまざまな意図がありました。対策のきっかけはもちろん、「これから」についても伺います。

東北の小さな街の市役所が、 スパムメールの標的に。

東京から2時間弱の距離にある白石市。東京オリンピックやインバウンド増をきっかけに海外との接点が増えたこともあり、急激にスパムメールが増加しました。市役所に届くスパムメールは週に3件程度だったのですが、日に数百件と脅威に感じるほどに。スパムメールと気づかず開いてしまう職員もいましたので、早急に対策する必要がありました。

決め手は防御力と運用の負担軽減。 市役所PCへAppGuardの導入を決断。

それまでセキュリティ対策としては、アンチウイルスソフトに加えて新型マルウェア対策ソフトを導入していました。しかし、新型マルウェア対策ソフトがWindows Updateを誤検知するなど、運用の負担となる事象が多発し、運用の負担が増加することに。こうした課題を解決する対策としてAppGuardの導入を決断したのです。そして2020年4月以降には、インターネットに接続するPC125台でAppGuardの運用をはじめました。

今の課題と将来の課題を解決する サイバーセキュリティ。

問題となっていたスパムメールだけでなく、メールを起点とした攻撃についても、AppGuardが止めてくれている実感があり、導入後はヒヤリとすることも一切なくなりました。ヒューマンエラーを100%防ぐのは難しいものですが、「何かあったときにも相手方にご迷惑をかけるようなことは阻止したい」そんな思いにも応えてくれています。今後の人口減少を考えると、市役所においても業務効率化は必須。地域の将来のためにもサイバーセキュリティを強化し、紙からの脱却を進めていきたいと考えています。



◀◀◀ 記事全文はこちらから
Blue Planet-works ホームページ



株式会社カクダイ

攻撃と防御の「イタチごっこ」終わらせる、
唯一の製品は AppGuard でした。

Interview

営業本部情報システム部 結城亮祐 氏

明治12年創業の株式会社カクダイは、水回り器具の製造と販売に特化した専門メーカーです。ウイルスの侵入と駆除が続く日々疑問を抱き、セキュリティの見直しを実施。AppGuard導入によって得られた効果とは？

1日数十万種の“新種”マルウェア セキュリティ管理につきまとう不安。

当時から複数のセキュリティ製品を使い、対策には試行錯誤を重ねていました。その結果「検知型製品」による防御では常に後手になることがわかり、常に不安を抱いていたんです。1日数十万種発見される“新種”のマルウェア対策としても、本当にこれで大丈夫なのかと。社員に完璧な対策を求めることにも限界を感じ始め、セキュリティの見直しに踏み切りました。

管理コストと運用負荷を考慮し、 AppGuard 導入を決断。

PC向けセキュリティの見直しの際には、EDR（エンドポイントでの検知と対応）などの導入も検討しましたが、全体のコストや運用面の負荷がネックになりました。一方、すり抜けが発生してしまうことを前提としながらも、マルウェアを起動・発症させないAppGuard。これならば「エンドポイントの課題は解決できるかもしれない」と感じ、導入を決めました。

AppGuard 導入で得られた、 計り知れない「安心感」

「侵入されても発症しない」という、全く新しい概念をもつAppGuardを導入したことで、計り知れない安心感を今では感じられています。それは、次から次へと生まれる未知の脅威への備えによるもの。油断はできないものの、従来の検知型よりもはるかに安心です。もしかすると、攻撃と防御のイタチごっこを終わらせる、唯一の製品なのかもしれません。



◀◀◀ 記事全文はこちらから
Blue Planet-works ホームページ



カスタマー
エクスペリエンス特集!

06【福祉サービス】

社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会

法人全体のセキュリティレベルを底上げし、
大きな安心感を手に入れた千葉市社会福祉協議会。

Interview

総務企画課 総務企画班 主査 渡邊直樹氏

総務企画課 主事 三橋雄介氏

千葉市社会福祉協議会は、新たな脅威や未知の脅威への対応策としてAppGuardを選択。導入後は、怪しいソフトウェアが動作しないため、PCセキュリティの強化と手間のかからない運用で、大きな安心感を得られています。

一番守るべきエンドポイントにフォーカスし、 セキュリティ強化を検討。

千葉市社会福祉協議会は、2020年4月に千葉市社会福祉事業団と合併し、個人情報取り扱いが増加。年々高まるサイバー攻撃の脅威を感じ、情報セキュリティ研修と並行して技術的な対策の検討を開始しました。予算面の壁が立ち上がる中、一番守るべきポイントを職員が利用する端末と定義し重点的な対策を検討。エンドポイントセキュリティの強化に向けて情報収集を進め、AppGuardに出会いました。

運用開始までは導入支援サービスを利用し、 600台への展開が完了。

導入プロジェクトの開始時には、メーカーとパートナー企業を交えキックオフを行うことで、運用開始までの具体的なイメージをつかむことができました。合併後間もないことから、組織全体のPC利用の把握ができていないこともあり、予定よりポリシー設定に向けたログ収集に時間を要しましたが、段階的に保護モードへ移行していきました。運用開始後も定期的な打ち合わせを行うことで、懸念点や次のステップを明確にし、約600台のPC上でAppGuardが稼働し始めました。

AppGuardの導入で 職員のセキュリティ意識が向上。

本格運用開始以降、端末のセキュリティは望ましい状態を維持しています。AppGuardの導入により、許可されたソフトウェア以外は動作しない状態となっていることが「余計なソフトウェアは入れてはいけない」という認識となり、職員のセキュリティ意識の向上にもつながっているといます。システム管理業務に携わる総務企画課では、AppGuardから得る安心感のもと、今後も情報システムの高度化を推進していきます。



◀◀◀ 記事全文はこちらから

Blue Planet-works ホームページ



Blue Planet-works 監修 セキュリティレポート

サイバーセキュリティの裏側から

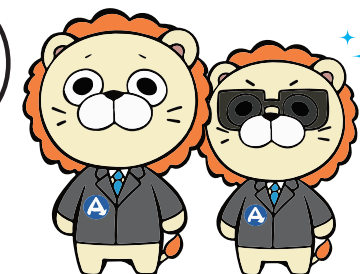
近年国内で増加し続けるサイバー犯罪による被害の実録と、その教訓をまとめた年次レポートを「サイバーセキュリティの裏側から2023」として公開しています。本レポートでは、ゼロラスト型エンドポイントセキュリティ「AppGuard」を利用するユーザーの利用実態を調査すると共に、国内外で観察された最新のサイバー攻撃の動向について多様な角度から解説致します。



レポートのダウンロードはこちら

Blue Planet-works ホームページ

サイバーセキュリティの「今」がわかるよ!



※サイバーセキュリティの裏側から2023

目次と概要

1. AppGuard 利用実態調査

AppGuardが2017年に日本上陸を果たしてから、どのような成長を遂げたのか、どの業界で需要が高まっているのかを分析しています。ITガード社より提供されたサンプルデータを基に、AppGuardユーザーがどのような脅威に遭遇し、AppGuardにより防止されてきたのかを調査し、その傾向を分析します。

2. AppGuard の有効性検証

アンチウイルスやEDRといった従来のエンドポイントセキュリティソリューションとは一線を画するアプローチを提供するAppGuardが、最新のサイバー攻撃手法に対してどのように有効なのか、具体的な脅威サンプルを用いながら解説します。

3. サイバー犯罪者たちの動向

組織化された犯罪者グループによるランサムウェア被害が増加傾向にあります。この章では、ランサムウェアグループの実態やその犯罪手法を実際の侵害事例をもとに解説します。

4. サプライチェーン攻撃について

IPAによる「情報セキュリティ10大脅威 2023」でも2位にランクインした「サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃」。多くのユーザー企業において参考となるサプライチェーン攻撃の事例を紹介します。

5. セキュリティアドバイザーの視点から

当社セキュリティアドバイザーとストーンビートセキュリティ社による対話をもとに、昨今の脅威情勢からユーザー企業に対して共有したい事項をまとめています。